令和5年度　芦城小学校の教育

【教育の目的】
・人格の完成　≪自立≫
・国家、社会の形成者の育成　≪貢献≫
［よりよい教育を通して、よりよい社会を創る］

【芦城小学校のミッション】
・「集義の心」を受け継ぐ児童の育成
ー善い行いを積み重ねようー

【経営理念】　笑顔と活気あふれる学校づくり

〔経営理念に対する想い〕
子どもが「学校が楽しい」「明日も学校へ行きたい」、保護者が「芦城小学校へ通わせたい」、教師が「この学校で働けてよかった」と思う学校づくりをしていきたい。
教師は、子どもの心に灯をともし、主体的に成長（向上）しようとする意欲を育むことが大切である。また、子ども自身が目標を持って取り組むことが大切である。教師（学校）は、子どものために様々な教育活動を計画的に仕組み、認め、励まし、慈しみながら、子どもが満足感や達成感を味わう経験を通して子どもの成長を育み、笑顔と活気あふれる学校づくりをしていきたい。
保護者・地域の信頼は、「子どもの姿」によって得られる。子どもの笑顔や子どもが育つ姿、自ら育とうとする姿は、保護者・地域の学校及び教師に対する信頼を確かなものにしていく。
教師が一丸となって子どもの笑顔と活気あふれる学校づくりに努めていきたい。

【目指す教師像】※人格が人格を教育する
・職責の重さを自覚し、人間性の錬磨に励む教師
＜教職の尊厳に畏れよ＞
・児童の成長を願い、自己研鑽に努める教師
＜教化の源泉は自己にあり＞
・児童を愛し、認め、慈しみ、
保護者や地域から信頼される教師
＜廣く愛と敬とに生きん＞

【教育目標】
未来を拓き，よりよく生きる

【目指す児童像】
・心ゆたかな子
・かしこい子
・たくましい子

徳を修めつ
智を磨き
やがて世に立つ
日を見よや

よりよい自分・学級・学校

よ　り　よ　く

心ゆたかに

思いやり
相手を認め大切にする
よりよく考え判断し行動する

・「言葉」を大切にする取組の充実を図り、他者を思いやる気持ちや他者を認める態度など、他者と適切にかかわる力の育成を図る。
・認め合う人間関係を育む中で、自己肯定感や自己有用感を高め、温かく、高め合う集団づくりを図る。

〇あいさつ
〇感謝
〇よさ・がんばり・違いを認め合う
〇自治的集団

豊かな心

かしこく

主体性
自ら考え、主体的に学ぶ
共に高め合う

・授業づくりや環境づくりを工夫しながら、自ら考え、主体的に学びに向かう意欲や態度の育成を図る。
・関わり合いの中で「わかった」「できた」「高め合った」を実感する経験を重ねることを通して、共に学ぶ良さを大切にする態度の育成を図る。

〇学習規律（話す、聞く、姿勢）
〇学習意欲
〇協働学習（教え合い、学び合う）
〇基礎基本

確かな学

たくましく

向上心
自身を高めようと挑戦する
粘り強く取り組む

・目標に向かって最後まで取り組むことによる満足感、達成感を味わう経験を通して、粘り強く取り組む態度の育成を図る。
・振り返りを行うことで、メタ認知を高め、さらに向上しようとする態度の育成を図る。

〇挑戦
〇粘り強さ
〇達成感
〇自己管理力

健やかな体と心

「何を育むのか」という意図を持った教育活動の充実

［具体的な教育活動］
〇自発的・自治的な学級活動
〇児童が主体的に企画運営する活動の推進
・あいさつ運動　・集会活動　・縦割り活動
・学校行事（6年生を送る会・運動会）
〇道徳教育
〇学級力アンケート

［具体的な教育活動］
〇学校研究　授業実践、授業交流
〇探究活動
〇学年間交流
〇集義堂タイム、家庭学習、読書習慣
〇GIGAスクール構想の推進
〇学級力アンケート

［具体的な教育活動］
〇学校行事　運動会、大縄大会
〇保健指導
・感染症予防
・早寝、早起き、朝ごはん
・SNSやゲーム等との関わり方
〇クラス会議

＜学校研究＞
主体的に学び，共に高め合う子の育成
ー　考えたくなる算数科の授業づくりを通して　ー

カリキュラム・マネジメントの充実
①教科横断的・組織的編成
②データに基づくPDCAサイクルの確立
③人的・物的資源等の効果的組み合わせ

【育てる資質・能力の三つの柱】
①　何を知っているか、何ができるか
②　理解していること・できることをどう使うか
③　どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか

ー　組織的な学校運営　ー
職員一人一人が学校経営への参画意識を高め、一体感をもって（チームとして）教育活動にあたる。
・指導力（授業力、生徒指導力、学級経営力）の向上を図るために、若手育成プログラムを推進する（あしのね塾、あしのたね塾）。
・安心、安全な学校を目指し、生徒指導の3機能を生かした教育活動を行い、いじめ、不登校の未然防止、早期発見・早期対応に組織的に取り組む。
・校内支援体制の組織化、充実を図る（特別支援教育）。
・一人一人が働き方改革を意識し、業務改善に組織的に取り組む。

ー　家庭・地域との連携・協力ー
・感染予防対策
・安全・あいさつ運動
・基本的生活習慣・学習習慣
・授業参観（学校公開）
・情報発信（HP・各種たより等）
・地域学習

集義：義を積み重ねること。善行を積むこと。

義：儒教における五常（仁・義・礼・智・信）の一。
人として守るべき正しい道。
善行：よい行い。道徳にかなった行為。